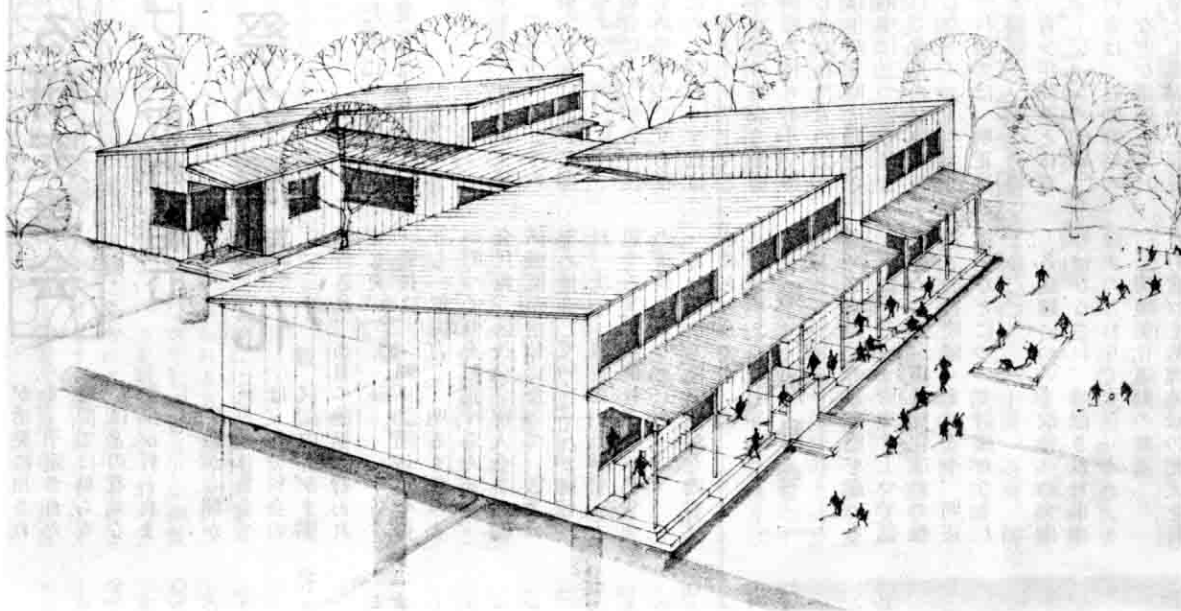


—町の人口—

	12月1日現在	前月比
男	13,898	+14
女	14,197	+1
計	28,095	+15
世帯数	6,046	+12



保育所平面図



春には新しい保育所が

老朽化のため改築の望まれていた林保育所が、このほど着工されました。

新しい保育所は、現在の北側、運動場の所に作られます。

建物は木造平屋建、工費は2,250万円。来年の2月末に完成の予定です。

関連記事3ページ（議会）

# 郷土をよくする研究集会

## 町を上げて取り組む

### 冠婚葬祭の簡素化



明るく住みよい町づくりを進めるために、明正選挙や公害問題、冠婚葬祭の簡素化などについて話し合う。

各地区の区長や各種団体の代表など約二〇〇人の人たちが参加して「郷土をよくする中央研究集会」が、去る十一月二十六日、八郷公民館において開かれました。



第一分科会では選挙問題や公害問題に熱心な討議が

中央集會は、「明るく住みよい生活環境づくりを推進するためにはどうすればよいか」をメインテーマとして、各地区の集會で討議された議題を持ち寄り、再度、話し合われたものです。集會は午前九時に開き、午前中は三つの分科会にわかれて意見の交換が行われました。

第一分科会では「明正選挙や公害問題」、第二分科会では「青少年問題と体育レクリエーションの問題」、第三分科会では「冠婚葬祭の簡素化」などが議題とされ、各分科会とも建設的な意見

#### 第一分科会

「地域住民の連帯感を高めるために」という研究テーマで話が進められ、環境美化運動の推進、公害問題、交通安全、明正選挙などについて討議がなされました。

各議題について改善への方向づけがなされ、確認された事項は次のとおりです。

#### 第二分科会

- 環境美化運動の推進
- 町営ゴミ処理施設の充実を町へ要望すると共に、処理できるものは家庭で処理する。
- ゴミは指定された日に決められた場所に置く
- 無包装などゴミを出さないための運動を推進する
- 公害問題について
  - 畜産のふん尿のたれ流しなどが悪臭や河川の汚れ、ハエやカの発生源になっているケースが多いので、畜産農家の自覚をうながすと共に、行政指導を強化してほしい
- 交通安全について
  - 青少年の無免許運転が多いので家庭および学校で十分注意する
  - 中・高齢者は歩行者としてのマナーを十分守る
- 明正選挙について
  - 選挙法が改正になったので改正法を十分理解し、違反者が出ないように互いに協力する
- 各種団体の連携いと活動のあり方
  - 婦人会、青年団体のない地区へ結成の推進をはかる

「明るい家庭づくりを推進するためには」というテーマのもと、青少年の健全育成、健康管理と体育レクリエーション問題について討議されました。

各議題について方向づけがなされ、確認された事項は次のとおりです。

体育施設の設置などの要望が出された第2分科会



とに、青少年の健全育成、健康管理と体育レクリエーション問題について討議されました。各議題について方向づけがなされ、確認された事項は次のとおりです。

- 青少年の健全育成について
  - 中・高校生が大人（青年）の団体に加入しているが、しっかりとした指導者がなく、かなり問題が生じているので、指導者の育成が必要である
  - 大人がスポーツなどを青少年といっしょにしながら健全育成をはかる
  - カギツ子については、かなり的人数になると思われるので、今後、学校、PTAなど関係



# 第五回産業文化祭

## 共進会や写真展が八会場

ことしは柿岡の文化祭もいっしょに

第五回町産業文化祭が、去る十一月十五日から十七日の三日間、八郷町公民館ほか八会場で開催されました。

ことしも乳牛種豚共進会やいけばな展のど自慢大会などたくさん催し物が生まれ、日曜日の十六日にはたくさんの人出でにぎわいました。

とくに、のど自慢の行われた商店街では、阿波おどりや怪獣パレードがあり、産業文化祭に花をそえました。



農産物は250点あまり出品され、16日には即売が

ことしは、柿岡地区の文化祭もいっしょに行われ、お父さんソフトボールなども行われました。



かしこまって一ぶく、公民館ではお茶会も

農林産物品評会、乳牛種豚共進会で優等賞を受けた人たちは次のとおりです。

### ■農林産物品評会

- 柿の部 本岡利男(吉生) 本多運男(真家) みかんの部 原田五郎(瓦谷) 梨の部 羽生彰(柴内) しいたけの部 高野植夫(小見) 萩原久芳(弓弦) しめじの部 関義治(猪内)

柿小講堂には生花や生徒の絵が展示されて



- 額賀孝一(上林) 穀類の部 相沢栄(上曾) いも類 飯田たま(鯨岡)
- 野菜の部 菊地健一(金指) 中島満江(金指) 春蚕の部 菱沼清市(月岡) 松延茂(辻) 塚田茂(柿岡)
- 島田哲男(加良寿理) 伊藤啓喜(下林) 足立喜一郎(上曾) 秋蚕の部 吉田己代治(柿岡) 中島義光(東成井) 高橋弘(下青柳) 菊花切花の部 永瀬二郎(宇治会)

### ■乳牛種豚共進会

- 乳牛未經産の部 藤岡寛(太田)
- 同妊娠牛の部 大槻和夫(山崎)
- 同経産牛の部 柴一郎(小幡)
- 種豚若令豚の部 鈴木利昭(山崎)
- 同経産豚の部 鈴木利昭(山崎)
- 同若雄成雄の部 磯山勉(部原)

### 社会福祉功労で

大木さんら七名が表彰をうける

このほど開催された茨城県社会福祉大会、および新治郡社会福祉大会において、次の方々が社会福祉功労者として表彰されました。

- (県社会福祉大会)
  - ▽民生(児童)委員の部 大木フサさん(五五歳)
  - ▽社会福祉施設協力者の部 大久保芳太郎さん(四一歳)
  - (郡社会福祉大会)
    - ▽民生(児童)委員の部 比企たまさん(四五歳)
    - 鈴木藤寿さん(六五歳)
  - ▽社会福祉団体職員等の部 母子福祉会長中島喜代子さん(六七歳)

▽社会福祉事業協力者の部 八郷町婦人会

### お父さんソフト

林ニュースターが町代表に 郡大会では惜敗……ママさんも

お父さんソフトボール郡大会出場決定戦が、去る十一月九日、柿中および公民館グラウンドで行われました。試合は、一試合目から好ゲームが展開され、決勝戦は接戦のすえ勝ち上った東成井クラブと林ニュースターチームで争われました。

決勝戦も好ゲームが展開されましたが、打撃面でわずかにまさった林ニュースターチームが一對〇で優勝

### ミニニュース



# 水田でも反20万の所得が

## —二毛作

裏作を作った場合には、反当り5000円の裏作奨励金が交付されます。なお、裏作に麦作を作った場合には、1反当り2000円の麦作奨励金も合せて交付されます。

町では年次計画にそって水田のは場整備事業を実施しておりますが、すでに全水田面積の四〇パーセント近くが完了し、機械化への基盤は着々と整備されつつあります。

この中であって、ほ場整備事業も完了し、乾田化された水田に稲作のみしか利用されていない現況は、あまりにももったいない限りです。

政府では、農産物の自給確保を目指し

て、昨年から裏作に反当り五、〇〇〇円の裏作奨励金を交付して、奨励しています。

とくに、水田裏作に麦作を作った場合には、一俵当り二、〇〇〇円の麦作奨励金も合せて交付されます。

そこで、町では農業所得の向上と土地の効率的利用を目指し、昨年試験ほ場を設けて、水田裏作に麦作を作ってみました。

試験を実施していただいた方は、柿岡の稲田万衛門さんです。

水田裏作は、麦作に影響を与えるといわれていますが、試作の結果は、とても良い成績を上げることができました。

水田でも反当り二〇万円の所得は可能です。

### 〈試作の結果〉

○水田裏作に小麦二反歩を作付、品種は農林六一号、反当り収量四五〇キロ

○水稲は日本晴、まき付五月十八日ピニール製育苗箱にまき付、反当三十三、三十五箱植付、苗は三十五日苗を田植機で六月二十三日に植付、反当り収量五一〇キロ

稲田さんは、耕起こそ二回行ったそうですが、種をまいた後は除草剤を使用し、中耕はやらす手間はほとんどかけなかったそうです。

区画整理された水田は大型機械も入り、農作業もだいぶ楽になりました。

なかでも麦作は最も手間のかからない作物です。

ほ場整備が完了した地域はぜひ二毛作

を実施し、農業所得の向上に努めましょう。

### 〈参考資料〉

- 一〇アール当りの労働時間
- 肥料散布—人力で六〇分 耕耘整地—大型トラクターで三〇分 畦立—テイラー利用で三〇分 播種—人力で六〇分 除草剤散布—ミスト機で六〇分 刈取—四条刈コンバインで九〇分 取穀—六〇分 乾燥調整—六〇〇分

### 県農業試験場年報から

### 裏作を作った場合の稲作の試験結果

#### (ア)中苗の育苗方法

- 育苗箱は底孔率一二%のもの、一〇アール当り三十三〜三十五箱
- 種子は一箱八〇グラムまき
- 肥料は基肥は無窒素とし、一・二・三葉の各葉期に一箱当り窒素〇・七グラム程度追肥とするのがよい
- 育苗期間は三十〜三十五日、草丈三〇センチ程度

#### (イ)品種及び収量等について

- 日本晴の場合六月十日と二十日植では苗間に差はないが、六月三十日植では中苗と成苗に差はなく、稚苗より一〇アール当り五〇キロ増収する

#### (ウ)育苗と田植作業

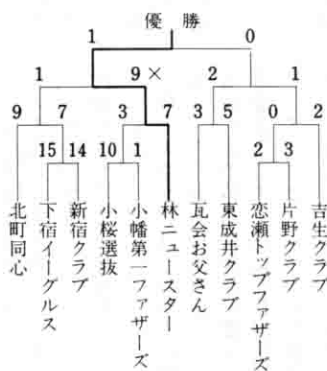
- 延育苗労働時間は稚苗より一・六倍
- 田植は株間一三センチ、一株五本の割で一箱の植付距離は八〇メートル位
- 中苗の田植作業時間は一〇アール当り一時間二〇分

### ミニニュース

郡大会出場を決めました。

なお、三十日にママさんバレーとお父さんソフトの郡大会が玉里村で行われ、町からママさんバレーの柿岡さくらチームと林ニュースターチームが出場しましたが、残念ながら両チームとも惜敗しました。

お父さんソフト町大会の成績は次のとおりです。



### 町に感謝状が

#### 自衛官募集事務で

自衛官募集事務功労者に対する防衛庁長官の感謝状贈呈式が、去る十一月一日、東京赤坂の防衛庁で行われ、当町に感謝状が送られました。

感謝状は、全国の中から三〇市町村に送られたものです。

○——歳末です。年末年始は一年のうちでも交通事故の最も多い時期です。安全運転を心がけ事故防止につとめましょう



# スクールゾーン

「あいさつ」とは、人と人との心をつなげるきずなではないだろうか。

「あいさつ」とは、人と人との心をつなげるきずなではないだろうか。

## あいさつ

柿中一年

根本由美子



なにげないように思えるこのことは、こんな簡単なことばでも、考えると深い意味があると思う。

朝起きて「おはよう」と声をかける。その日の始まりのことばである。暗い気持ちの時は、あいさつも、つい暗くなりがちである。明るい時は、はつらつと自然に声もほがらかに、声をかけられた人も、気持ちのいいものである。

「さようなら」のひとつにも、人々のいろいろな気持ちがいかに知られているのではないだろうか。私の場合、知っている人がいると、自然に頭がさがる。しかし、ときどきあまりつきあいがいい人には、

つい知らん顔してしまふ時もある。すると「またやつちやつた」という後悔の気持ちが出てくる。

「あいさつ」とは、人と人との心をつなげるきずなではないだろうか。

## わだいの話題

### 消防団みごとに実力発揮

#### 操法大会で優勝独占

第二六回消防ポンプ操法競技

大会新治地区大会が、去る十一月二十九日開催され、町代表が二部門とも優勝を独占しました。

競技は、自動車ポンプと小型ポンプ（可搬）に分けて行われ、操作時間、総合動作、共同動作

出島など二市一町四カ村。

町からは第二分団（自動車ポンプの部）と第三分団（小型ポンプの部）が出場して、昨年自動車ポンプの部で優勝の土浦市などの強豪をおさえ、接戦のすえ二部門にわたり優勝を独占し

などが争われました。大会に出場した市町村は、土浦、石岡、桜新治、千代田、



ました。

町で二部門とも優勝を独占したのは三年ぶりです。競技大会に出場した方々は次のとおりです。

○自動車ポンプの部（第二分団）

▽富田利雄、大塚利、仁平一夫、込山新一、糸賀喜幸、鈴木政美、桜井謙次、田上一男

○小型ポンプの部（第三分団）

▽中島良衛、植木和昭、中島仁一、植木力松、中島武夫、鈴木恒一

写真は、県消防協会長から優勝メダルを送られる第三分団の人たち、左から名前ご紹介の順。

## 話のひろば

毎日町の公民館に勤めていると、多くの町民の方々に会い合います。公民館では、毎日のように会合が開かれて人の出入りがあるからです。

乳幼児の検診とか、各種の子防注射、胃の検診や血圧測定など健康に関すること、青年会や婦人会、消防団など各種団体の会合、詩さん会などの趣味の団体、詩さん会などの趣味の会合、料理教室や生活改善、消費生活などの諸講座、運動場は各種体育など、室内運動場共利用されることが大変多く、

たびたび部屋の数の不足を感じることもある位です。

このように、いろいろな方面に公民館が利用されることは大変に喜ばしいことです。

各地区にも公民館があつて、地区ごとの諸会合にそれを利用することも多いわけです。とこ

### 読まなきやせん損

教育長 桜井 太郎



町から発行されている広報も、余り長い文句はないはずだ。

ろが、なかには場所や時間を間違えて来られる方が割合多いのです。なかでも遠方の方々が数少ないバスを利用して、町の公民館にいられてむだ足で帰ることがあります。福祉センターで行われるのを、間違えて公民館

に來られるお年寄。午前十時からのを、終つてしまつた午後二時頃來られる方。地区公民館で行われるのを、間違えて遠い町の公民館まで來られた方。印鑑が必要なのに忘れて來て、取りに戻られる人など、割合多いようです。少し注意すればむだな

時間も、労力も、経費もはぶけるのに、通知をよく読まないためにそんな損です。夏の暑い日など、お気の毒に思うことが度々あります。これは、柿岡から遠い地区ばかりでなく各地区共いえることです。

週報にもよく目を通すよう希望いたします。そして、家族全員が承知するように心掛けて貰えば、前に申し上げたようなむだなことはないはずだ。お気の毒に感ずる余り茶の間の話題に供します。



経営移讓年金(農業者年金)

いよいよ来年から支給開始

農業者年金の加入者のみなさん、来年から経営移讓年金の支給が始まるのをご存知ですか。

来年、経営移讓年金の支給を受けることができるのは大正五十年生まれの方々です。

農業者年金には、経営移讓年金と農業老齡年金の二種類があり、経営移讓年金は、農業者年金の中心となっている年金で、農業経営主の若返りを図り、農業経営の規模拡大を促進するとともに、農業者の老後の生活安定のための年金です。

この年金は、保険料納付済み期間が二十年(大正五十年〜九年生まれの人については五年)以上ある人が、六十五歳になるまでに経営移讓した場合に支給されます。

例えば、大正五年生まれの人が来年一月中に経営移讓しますと、月額一七、六〇〇円が支給されます。

しかし、来年からこの年金を貰うためには、(イ)昭和四十六年の十二月までの五年間の保険料を納めていること、(ロ)来年一月以降に経営移讓すること、が必要で、支給の手続き

については、農地課から該当者に直接連絡いたします。その他詳しい点については、農地課へお問い合わせください。

小・中学校の宿日直が廃止に

いままで町内の小・中学校の警備(日直や宿直)は、その学校の先生方や代行人の方々によって実施してきましたが、これを近く警備会社に委託し実施することになりました。

したが、土曜日の午後、日曜日、祭日ならびに夜間の学校は無くなる予定です。

なお、詳しい点につきましては、各学校を通して父兄のみなさんにお知らせいたします。(教育委員会)

事故証明の発行は

1月から自動車安全運転センターで

交通事故防止と運転者の利便をはかる目的で、来年の一月一日から「自動車安全運転センター(茨城県事務所)」が開設され、事務所を県警本部内に設置して次のような業務を開始します。

- 交通事故証明書の発行
- 交通事故証明書は、現在警察署で発行していますが、一月一日からは、県外で起こした交通事故についてまでも、証明書を発行します。証明書の必要なのは、申請書に手数料を添えて最寄りの郵便局から申し込んで下さい。証明書は郵送します。申請書は、警察署、派出所、駐在所などにあります。直接申し込んだかたにはその場で渡します。

■運転経歴証明書の発行  
自分の運転経歴について、無事故、無違反の証明や交通違反の現在の点数を知りたい人には、

十二月の納税

- 固定資産税 第四期
- 国民健康保険税 第六期
- 国民年金 第四期

本人の申請により証明書を発行します。申込方法は、交通事故の場合と同じです。

- 免許停止直前の点数通知
- 交通違反などの点数が、運転免許の停止処分を受ける直前の点数になった人には、郵送でお知らせします。



短歌

吉田次郎選

妻が活けし白菊の花美しも雪江の描く軸をそびらに

細谷 金沢 翠柳

野漆の赤き実りとなりぬれば野辺の日さしの秋さびにけり

大増 青木 祥太

朝霧の晴れて筑波のよく見ゆる畑に妻と大根抜きをり

東山崎 荒井 岳山

時雨ふる朝も野末の石仏は蕨をかむりて我に微笑む

大増 入江 君子

俳句

滝田玉水選

大根の子にも素直に引かれけり

東山崎 荒井 岳山

さなみを引く風の色白し秋

大増 青木 村莊

陽のあたる畳はなれず冬の蠅

細谷 金沢 翠柳

菊日和何やら語る老夫婦

小幡 桜井 幸雄

俚謡

林 嶺月選

筑波紅葉が入陽に赤く燃えて目を引く旅の窓

小幡 鬼沢 功

腹は立てまい立て、はならぬ立てりや心が横をむく

金指 関口 双峰

割って語れば互いの腹も読めて明るい両隣り

川又 岡崎 笛声

君と二人で苦楽を共に農に打ち込む果報者

小山田 藤代 竹堂